

平成24年度

決算を認定

第4回
定例会

活力ある高収益型
園芸産地育成事業
4622万円

アクアス改修工事及び
設計、監理委託
2758万円

大溝小学校増改築工事
1億4470万円

24年度一般会計主な事業

借金残高は約50億3337万円で、町民一人当たり約34万4千円。
基金(貯金)は、1億9017万円を積立て、37億5231万2千円となった。

町債(借金)基金(貯金)

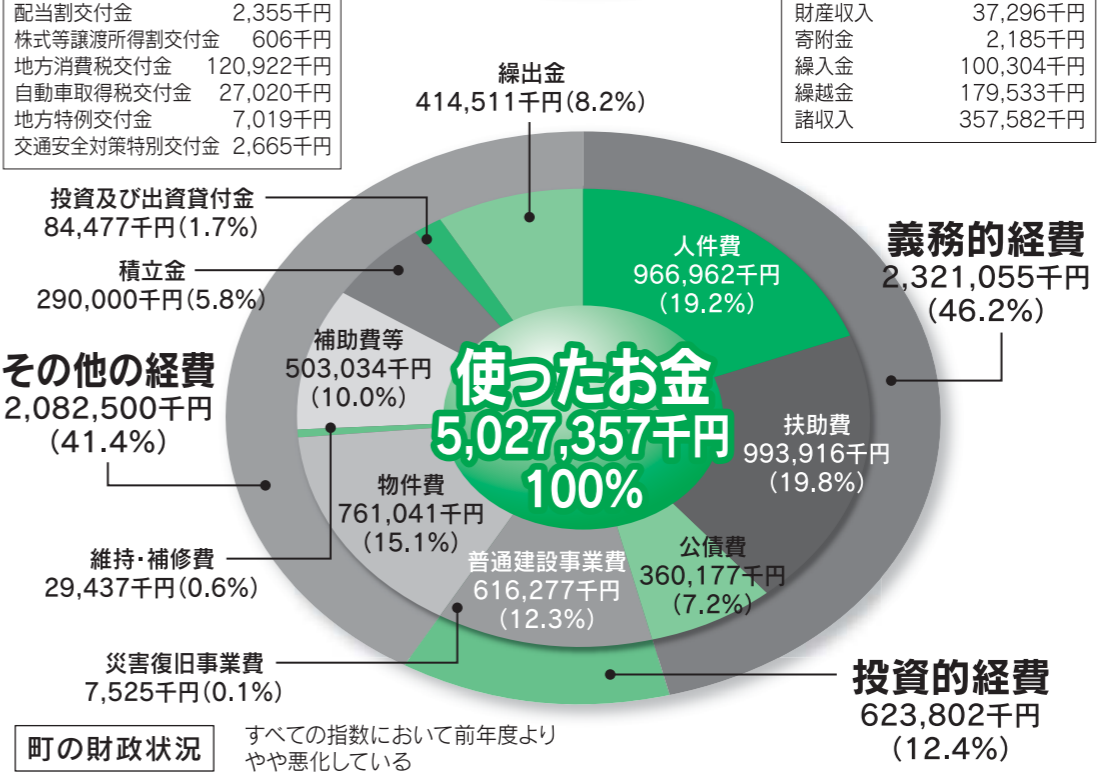
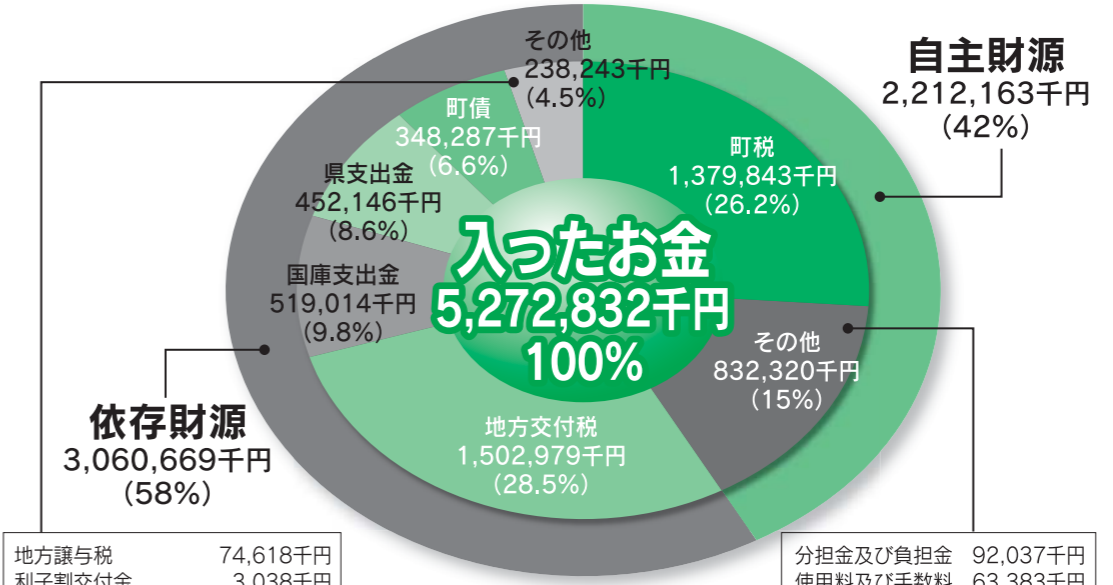
町税収入未済額6664万3千円、不能欠損は1528万9千円。
収納の取り組みとして県の職員と共同で収納等に努め、現年分徴収率98.3%。滞納繰越分の徴収率を28.9%(4.5ポイント)と上げたが、さらなる徴収を。

町税の収入状況

平成24年度決算では一般会計で1億8514万2千円の黒字。

収支

9月定例会は9月12日から27日まで、16日間の会期で開かれました。
24年度の決算・25年度の補正予算・議案13件を認定・可決。健全化判断比率・資金不足比率等の諮問1件、報告4件、発議4件についての審議。



町の財政状況 全ての指数において前年度よりやや悪化している

主な財政指数	23年度	24年度
経常収支比率(%)	82.4	85.9
財政力指数	0.505	0.492
公債費比率(%)	9.0	9.6

経常収支比率=70%以下が望ましい。
財政力指数=1に近いほど財源に余裕がある。
公債費比率=15%が警戒ライン、20%が危険ライン。

平成24年度特別会計決算状況

全員賛成で認定

国民健康保険 (歳入) 17億218万円	(歳出) 17億2248万円
後期高齢者医療 (歳入) 1億3741万円	(歳出) 1億3238万円
水道事業会計	.. (収益的収入) 2億1835万円	(収益的支出) 1億9380万円
	(資本的収入) 561万円	(資本的支出) 1805万円

平成24年度一般会計及び特別会計決算査監査委員報告

各会計決算、基金及び付属書は、正確で内容も適正であると認める。
特別会計の国保・後期高齢事業は、高齢化社会の進行、医療費の上昇など厳しい財政状況で、後期高齢事業は実質収支において黒字決算だが、国保会計は赤字で、翌年度歳入繰り上げ充用金20,297千円で歳入不足を補てんし、今まで以上に厳しい運営状況。健康保持対策と医療費低減対策に積極的に取り組み、支出抑制に向けた努力をお願いします。
水道事業会計は、需要者へのサービスを第一に、経営の効率化、経済性の追及に努め黒字決算をなし得たことは評価する。今後とも公営企業の使命を追求し、一層の努力をお願いします。
事業実施にあたっては、将来世代への過大な負担を残さないよう、費用対効果の観点から検討と改善を加え、一層の健全な財政運営と重要な施策・課題に積極的に取り組み、各課の連携を図り適切に対処され、町民と行政との協働のまちづくりを推進し、更なる住民福祉の増進に努められるよう切望する。

代表監査委員 川村和正

一般会計50億2735万7千円

全員賛成で認定しました

平成24年度一般会計決算を2つの特別委員会を設置して審議しました